

# 留学体験レポート

国際情報大学国際文化学科 2年

樋浦優里

## 1. はじめに

4か月の留学の中で印象に残っていることはホストファミリーとの時間です。私はホストファミリーについて紹介します。

## 2. ホストファミリーの紹介

私のホストファミリーは、ご夫婦で、名前は **Larry** と **Darlene** とオランダから留学してきていて私たちよりも早くホームステイを開始していた高校生の **Maura** です。**Larry** はいつも面白いお話をしてくれて、いろんなところへ連れて行ってくれました。**Darlene** はとてもお料理が上手で、ほんとの家族のようにいつも接してくれました。彼らはとても仲の良いご夫婦でした。対面会では、**Darlene** と **Maura** が来てくれて、私たちのつたない英語を頑張って聞き取ってくれ、ずっと笑顔でたくさん話しかけてくれました。彼らのお家はとても大きく綺麗でお花がたくさんあって広いお庭があり、そこで私たちは **S'more** をやったりしました。自分の家のように使っていていいよとも言ってくれました。彼らにはたくさん子どもたちとお孫さんがいて、毎日のようにお孫さんが遊びに来ていて、仲の良いご家族でした。

## 3. サンクスギビング・ブレイク

5日間お世話になったサンクスギビング・ブレイクでは、25人近くの親戚たちが勢ぞろいし、**turkey** や **cake** を持ち寄ってみんなでたくさんのご飯を食べました。オランダ出身の **Maura** と一緒に **Dutch apple pie** を作りました。みんなが美味しいと食べてくれて嬉しかったです。そしてサンクスギビングの日に、お孫さんたちが制作した **Larry** と **Darlene** の結婚20周年の **movie** をみんなで一緒に見ました。すごく仲の良いことが伝わって、2人も感動して泣いていて、私は良いご家族だなあと思い感動しました。そのあとは地下室でお孫さんたちと風船やフラフープ、映画を見たりして過ごしました。朝3時に起きて朝の5時から初めての **Black Friday** に行ってお買い物をしたり、高校生のお孫さんのバスケットボールの試合を見に行ったり、初めてサンタクロースに会ったり、教会に行ったり、初めての体験をたくさんさせてもらいました。たくさんの人たちとふれ合い、とても充実した、

1 番思い出に残る 5 日間でした。

#### 4. 終わりに

サンクスギビング・ブレイクだけではなく、彼らは普通の週末に **shopping** に連れて行ってくれたり、**fishing** をしたり、ご飯を食べに連れて行ってくれたりと、寮生活ではできないことをたくさん経験させてくれました。いつも本当の家族のように優しく親身になってくれて、分からないことは何でも教えてくれて、私たちの英語を上手くなったねと褒めてくれて、このご夫婦に出会えてよかったと心から思いました。日本に帰ってからも無事についたら連絡してねと言われ、今でも連絡を取っています。離れていても繋がっている第 2 の家族ができたように感じます。この経験が無駄にならないようにこれからも英語を勉強し続け、また、英語が上手くなったねと褒めてもらえるように精進し、また必ず会いに行くという約束を果たせるように勉強し続けていきたいと思えます。